

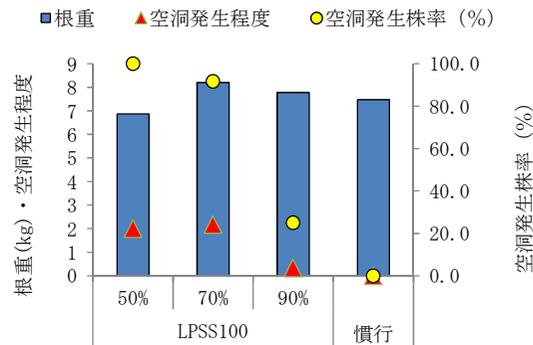
桜島大根「桜島おごじょ」の全量基肥による省力施肥技術

肥効調節型肥料LPSS100を窒素の90%配合した肥料を全量基肥施用することで省力高品質栽培が可能である

背景・目的

- ・「桜島おごじょ」は、基肥なしの追肥中心(つぼ肥)施肥により空洞症の発生をほぼ抑えることが可能
- ・その施肥方法は労働時間を多く要し、規模拡大の阻害要因の一つ
- ・栽培基準表はあるが、煩雑であるため経験を要する
- ・空洞症を抑えることができる省力施肥技術の開発が必要

成果の内容



注) 50%, 70%, 90%は窒素に占めるLPSS100の割合
空洞発生程度: 4 甚大, 3 大, 2 中, 1 小, 0 無

LPSS100を窒素量の90%配合することで慣行の追肥重点施肥(栽培マニュアルで5回)と同程度まで空洞の発生を抑制でき、根重・商品収量とも同等である。

期待される効果

「桜島おごじょ」の省力高品質安定生産

鹿児島県農業開発総合センター園芸作物部野菜研究室

表 肥料代および施肥労働時間

試験区	施肥量 N:P:K	肥料代 (円/10a)	施肥労働時間 (hr/10a)
LPSS100・90%	15:15:15	19,000	2.0
現地基準施肥	19:18:19	19,624	13.9

注) 現地基準施肥の追肥時期: 播種後15,30,50,70,90日
千代田化成550, 千代田化成255を「桜島おごじょ」栽培マニュアルの推奨施肥量に基づき試算

肥料代は現地基準施肥と同等
施肥労働時間が大幅に減少
新規栽培者にも適応性が高い

導入メリット

普及対象・範囲
桜島おごじょ生産農家

その他(全農肥料委託試験)

(H30)